

羅針盤 (進路便り)

京都市立梅津中学校
第25号
R7. 2. 7 (金)

いざ 本番！

いよいよ入試本番を迎えます。先週もお伝えした通り、ここまでくれば当日に全力を尽くすだけです。今までの努力の成果を発揮させましょう。健闘を祈ります。以下の内容をこのあとの集会でもう一度確認します。新たに加わった内容もありますのでご注意ください。

受験の心構えと準備

1. 試験日までの過ごし方

①試験会場への道順や所要時間を確かめておく。

入試当日に試験会場へ行くのに迷ったりして遅れたら大変です。事前に試験会場までの道順をしっかりと確かめておきましょう。高校の場所や行き方はもちろん、特に、電車・バスを利用する場合は、時刻表などを利用して発車時刻、所要時間等をきちんと確かめておくようにしましょう。(受験票と合わせて何かメモを持っておくとよいでしょう)

②当日の携行品を確かめ、一覧表にして必要なものを準備しておく。

※要項や受験票で必ず確認。各校で持ち物が異なります。自分で確認を

カバンや筆箱にキーホルダー等をつけている人は必ず外しておくこと！！

募集要項や受験票の裏等においてある諸注意や高校からの「受験時の注意」等のプリントをよく読んで、当日に必要なもの(昼食の有無も)や試験の時間帯(集合時間や時間割が受験する科目によって変わる場合がある)なども前日には必ずもう一度確認しておくようにしましょう。

③直前の勉強は、要点に目を通すだけにする。

前日にあれもこれもと勉強しては、かえってあせりにつながります。今までにつくった整理のノートや参考書の要点に目を通す程度にしておき、心を落ち着かせるようにしましょう。

④体調を万全にしておく。

早寝・早起きをしましょう。食べ物は消化のよいものを食べ、特に風邪やインフルエンザなどに注意しましょう(うがいや手洗いをしっかりとするようにしましょう)。

1. 試験当日の心得

①朝はいつもより早めに起きる。

人間の脳は、朝起きてから3時間後にならないと完全には働かないと言われています。試験が午前9時に開始の場合は午前6時ごろには起き、余裕を持ってしょう。

②用便は必ずすませておく。

なるべく家で済ませてから出るようにしましょう。試験中にトイレに行った場合途中入室出来ないことがあります。

③持ち物点検(2度目)。

昨日準備した物を、家を出る前にもう一度確認しましょう。
(受験票、お弁当、必要であれば上靴や下靴を入れる袋など)

④試験会場に集合時間の30分前には必ず着けるように家を出る。

交通機関を利用する場合は、途中のバスや電車の遅れなども考慮して、時間に余裕を持って家を出るようにしましょう。降雪や事故などによる交通渋滞もあります。

⑤病気その他のやむを得ない理由で受験できなくなったときは、要項や当日の注意事項を確認の上、高校や中学校に連絡をしましょう。

2. 試験会場での注意

「面接」のあるなしにかかわらず、入試の日は、学校に着いたら試験中だけでなく学校を出るまで、さらには学校の外（駅や道なども）での行動も見られていると考えておきましょう。

① 服装や頭髪をきちんとする。

服装は登校時と同じもの。寒い日は防寒着、手袋、マフラー等を着用して行ってもいいですが、室内では着用しないようにしましょう。整髪料はつけないように。

② 受験生用の掲示は必ずよく読むこと。

時間的余裕を持って会場に着いたら、掲示の指示をよく読み、トイレをすませ、試験会場の所定の教室で席について待つ。会場での集合などは高校の先生の指示にしたがって行動しましょう。

③ 受験票などを忘れてもあわてない。

受験票を忘れたときは、取りに帰らずに高校の受付（事務室）に申し出て指示を受けましょう。

④ 会場ではすべての行動を観察されている。

会場での行動はすべてが面接試験と考え、慎重に行動すること（試験中の教室や控え室はもちろん、トイレや廊下でも）。特に、他校生とのトラブルは絶対に起こさないこと。面接試験のない学校では、試験時や休憩時の態度や行動を見られています。

⑤ 試験会場ではまずは落ち着く。

試験会場ではまずは気持ちを落ち着かせましょう。他人の話などにあまり巻き込まれないで、静かに問題が配られるのを待つようにしましょう。

⑥ 最初に受験番号と氏名、やさしい問題から取り掛かる。

試験が始まれば、まず受験番号と氏名をきちんと書きましょう。難しい問題は後回しにし、やさしい問題から解いていくと自信がでてきます。最後は必ず見直しをしましょう。問題用紙が持って帰れる場合は問題用紙に答えを書きこんでおきましょう。（終わった後答え合わせができるよう。）

⑦ 試験中の私語、用具の貸し借り、不正行為は絶対にしない。

試験監督の先生は君たちを写真と見比べながら観察しています。不正行為と疑われる行動（試験中にしゃべったり、キョロキョロしたり、机の中から勝手に消しゴムなどの物（問題用紙や答案も）を出し入れするなど）を絶対にしないのはもちろん、くれぐれも試験中に寝る（そう見える）などの行動がないように注意しましょう（もし早くできても、試験中に寝たりしない。終了の合図までしっかり見直しをする）。

⑧ 試験中に気分が悪くなったら、早めに申し出ること。

⑨ 面接等がある場合は、必ず日時などを確認しておき、指定の日時を間違えないこと。

⑩ 試験終了後に、合格発表の日時、方法（掲示・郵送）などを正しく確認しておくこと。

⑪ 試験終了後はまっすぐに帰宅すること。 家を出ればすぐに試験が始まっている。帰宅するまでが試験です。気を抜かないようにしましょう。

合格発表（私学編）

○合否の報告について

合格発表が休日にある学校もあります。13日以降の高校も含めて、合否の報告は発表翌日の登校時（朝学活）に担任の先生に直接報告してください。中学校へ電話をする必要はありません。発表された内容で確認することは、合格の場合、どの学科、コースで合格しているか、特待生等の資格があるか、また推薦、専願の場合は今後の手続きの内容等もしっかり確認をしておいてください。入学金の振り込み等は、すぐにする必要がありますので、保護者の方と一緒に、必ず目を通すようにしておきましょう。（招集日（制服採寸の日）も書かれていますので確認を）

◎私学高校の併願合格について

私立高校を併願合格した人は、今後の公立高校の結果次第で手続きが変わってくると思います。受験票と通知書類は必ず保管しておきましょう。事前に目を通していただき、公立高校中期選抜の合格発表後に必要に応じて手続きしてください。公立高校進学の場合は、併願校へ連絡の必要ありません。